

科目名		デッサン実習2							年度	2025
英語科目名									学期	後期
学科・学年	マンガ・アニメーション科 キャラクターデザインコース 1年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習	
担当教員	大槻 透、斉藤里香			教員の実務経験		有	実務経験の職種		画家	
【科目の目的】 素描(デッサン)に於ける「ものの見方、表現方法」の基礎的な知識・技術を習得し、的確に描画できる実力を備える。										
【科目の概要】 素描(デッサン)に於ける「ものの見方、表現方法」の基礎的な知識・技術を習得し、的確に描画できる実力を備える。										
【到達目標】 描画材料の使用法に始まり、素描の基礎の基礎から学ぶ中で、癖なく、正しい素描の表現を出来るようになる。 次年度の応用へ向けて基礎的な描写力を備え、知識・技術を学ぶだけでなく完成まで描き切れる集中力の持続力も備えられるようになる。										
【授業の注意点】 苦手意識があっても手を止めず描き続ける事が重要。 実習授業ゆえに、集中力の無い学生や苦手意識の高い学生が手を止めたり居眠りをする場合があるので、逐一巡回、個人指導を行う。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	構図を決め、あたりを付け、形をとる事が優れている		構図を決め、あたりを付け、形をとる事が出来ている		構図を決め、あたりとる事が出来ていない					
到達目標 B	鉛筆の硬さ、柔らかさを理解し、質感や明度に合わせて使い分けが優れている		鉛筆の硬さ、柔らかさを理解し、質感や明度に合わせて使い分けを理解している		鉛筆の硬さ、柔らかさを理解し、質感や明度に合わせて使い分けが出来ていない					
到達目標 C	石膏や、ガラス等質感を理解し、質感の表現が優れている		石膏や、ガラス等質感を理解し、質感の表現が出来ている		石膏や、ガラス等質感を理解し、質感の表現が不足している					
到達目標 D	グラデーション、陰影の表現の理解し、描く事が出来る		グラデーション、陰影の表現の理解が出来ている		グラデーション、陰影の表現の理解が不足している					
到達目標 E	スケールを使用し、形や大きさを正確に捉える能力が優れている		スケールを使用し、形や大きさを正確に捉える事が出来ている		スケールを使用し、形や大きさを正確に捉える能力が十分ではない					
【教科書】 必要に応じて授業にて資料配布を行う										
【参考資料】 必要に応じて授業にて資料配布を行う										
【成績の評価方法・評価基準】 課題 80% 課題の完成度、レベル、理解度を総合的に評価 授業態度 20% 作品制作への積極性を評価										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		デッサン実習2				年度	2025
英語表記						学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ボールを持った手	物を持った画を描く		ボールと手	人物と無機質と一緒に描ける	3	
2	靴を描く	靴を立体的に描く		靴	特徴を理解し立体的に描ける	3	
3	マネキンを描く	マネキンを描けるようになる		マネキンのポーズを捉える	人物の特徴を考えて描くことが出来る	3	
4	工具の描く①	工具の形状を描く		工具の複雑な形態を描く	複雑な形状を描くことが出来る	3	
5	工具の描く②	工具のメタリック感を描く		工具の質感を描く	メタリックの質感を描くことが出来る	3	
6	タイヤ描く	タイヤの楕円、形態を描く		タイヤの楕円を描く	タイヤの構造や質感を描くことが出来る	3	
				タイヤの形態を描く			
7	オートバイを描く①	構造を観察する①		オートバイの構造	構図を理解して描くことが出来る	3	
8	オートバイを描く②	構造を観察する②		オートバイの構造	構造と質感を理解して描くことが出来る	3	
9	石膏の首像を描く①	グレースケールを理解する①		石膏像の凹凸を表現する	グレースケールで描く表現方法を理解できる	3	
10	石膏の首像を描く②	グレースケールを理解する②		白黒のコントラストを表現する	コントラストの表現方法が理解できる	3	
11	短時間で人物を描けるようになる	スケッチを描く		時間内にスケッチを完成させる	被写体の構造を瞬時に理解し描くことが出来る	3	
12	裸婦を描けるようになる	人物のヌードを描く		人体の構造を理解	人物をよく観察して描くことが出来る	3	
13	写真から人物を描く	平面から立体を描く		写真の観察	平面より立体構造を理解て描くことが出来る	3	
14	複数の異なる形態、質感の静物を描く①	色々な複合物を描く①		今までの講義の応用①	様々な被写体、構造物などを1枚に描くことが出来る①	3	
15	複数の異なる形態、質感の静物を描く②	色々な複合物を描く②		今までの講義の応用②	様々な被写体、構造物などを1枚に描くことが出来る②	3	
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							